

復職支援に関するアンケート報告書

平成28年3月
兵庫県健康増進課

I 調査の概要

1 調査の目的

近年、高齢化に伴い歯科衛生士の勤務可能な分野が歯科診療所だけでなく高齢者施設や在宅にまで広がっており、歯科衛生士の人材確保が課題となっている。

一方で、女性が多い歯科衛生士は出産や育児等で一定期間離職した後、復職に不安を抱えていることが多いと考えられるが、復職に関する相談を行える機関が少なく、その実態が把握できていなかった。

そこで、歯科衛生士の離職の状況やその原因、復職に関する希望等を把握することにより、実態に即した支援策を検討し、歯科衛生士が復職しやすい体制づくりの一助とする。

2 調査の概要

兵庫県立総合衛生学院 歯科衛生学科 卒業生 1,138人

兵庫歯科学院専門学校 卒業生 2,442人

計3,580人

3 調査方法

- (1) 調査時期：平成27年8月1日～平成27年10月31日
- (2) 調査方法：郵送配布、返信用封筒又は兵庫県簡易申請システムによる回収
- (3) 回収状況：

【図表1】

配布数	回答数	回収率
3,580	1,394	38.9%

Ⅱ アンケート調査結果

1 回答者の属性

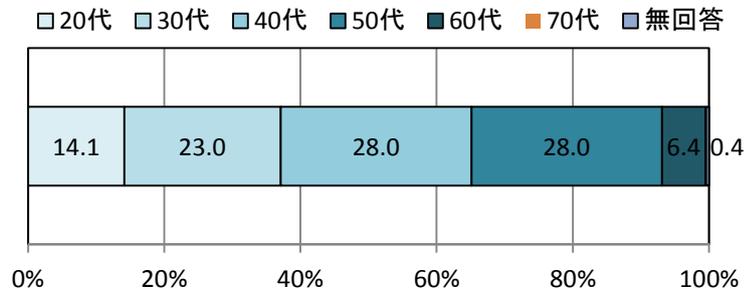
問1 年齢 (n=1,394)

平均年齢40代391人 (28.0%)、50代390人 (28.0%)、30代320人 (23.0%)の順に多かった。

【図表2】

	回答数	%
20代	197	14.1
30代	320	23.0
40代	391	28.0
50代	390	28.0
60代	89	6.4
70代	1	0.1
無回答	6	0.4
合計	1,394	100.0

【図表3】



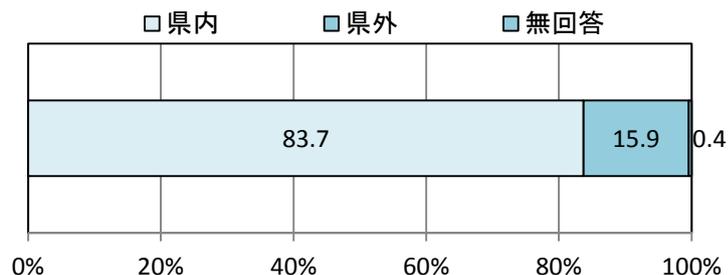
問2 居住地 (n=1,394)

兵庫県内が1,167人 (83.7%) と80%以上を占めていた。県外の内訳では、大阪府72人 (5.2%)、次いで、東京都14人 (1.0%) だった。

【図表4】

	回答数	合計比
県内	1,167	83.7
県外	221	15.9
無回答	6	0.4
合計	1,394	100.0

【図表5】



【図表6】

	回答数	%		回答数	%		回答数	%
兵庫	1,167	83.7	神奈川	5	0.4	沖縄	2	0.1
大阪	72	5.2	香川	4	0.3	青森	1	0.1
東京	14	1.0	埼玉	3	0.2	岩手	1	0.1
岡山	12	0.9	石川	3	0.2	茨城	1	0.1
愛知	10	0.7	福井	3	0.2	富山	1	0.1
滋賀	10	0.7	静岡	3	0.2	岐阜	1	0.1
京都	10	0.7	三重	3	0.2	和歌山	1	0.1
奈良	8	0.6	山口	3	0.2	鳥取	1	0.1
千葉	7	0.5	徳島	3	0.2	高知	1	0.1
広島	7	0.5	鹿児島	3	0.2	佐賀	1	0.1
愛媛	7	0.5	北海道	2	0.1	長崎	1	0.1
島根	6	0.4	秋田	2	0.1	熊本	1	0.1
福岡	6	0.4	長野	2	0.1	無回答	6	0.4
合計			合計			1,394	100.0	

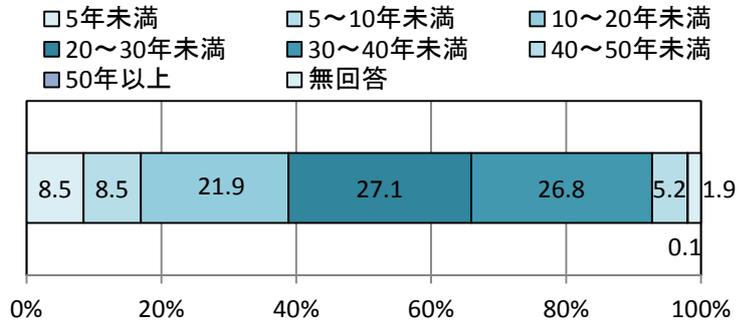
問3 卒後の年数 (n=1,394)

卒後平均年数22.6年で、20～29年未満378人(27.1%)が最も多く、30～39年未満374人(26.8%)、10年～19年未満305人(21.8%)の順に多かった。

【図表7】

	回答数	%
5年未満	118	8.5
5～10年未満	118	8.5
10～20年未満	305	21.9
20～30年未満	378	27.1
30～40年未満	374	26.8
40～50年未満	73	5.2
50年以上	1	0.1
無回答	27	1.9
合計	1,394	100.0

【図表8】



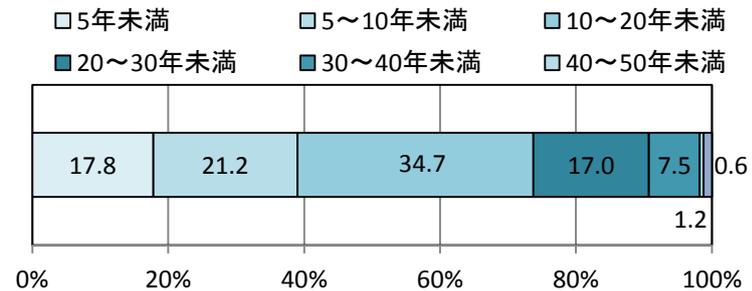
問4 勤続年数 (n=1,394)

平均勤続年数は13.6年で、10～19年未満484人(34.7%)が最も多く、次いで5～9年296人(21.2%)、5年未満248人(17.8%)の順に多かった。

【図表9】

	回答数	%
5年未満	248	17.8
5～10年未満	296	21.2
10～20年未満	484	34.7
20～30年未満	237	17.0
30～40年未満	104	7.5
40～50年未満	8	0.6
50年以上	17	1.2
合計	1,394	100.0

【図表10】



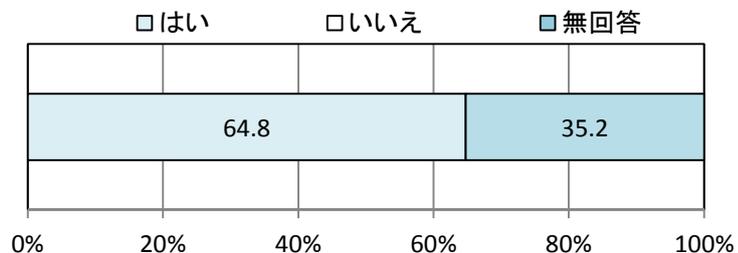
問5 就業状況 (現在歯科衛生士として働いているか) (n=1,394)

「はい」と答えた者 (以下: 現職者) 903人 (64.8%)
 「いいえ」と答えた者 (以下: 離職者) 491人 (35.2%)

【図表11】

	回答数	%
はい	903	64.8
いいえ	491	35.2
無回答	0	0.0
合計	1,394	100.0

【図表12】



2 現職者の状況

問6-1 現在の勤務場所、勤務形態について (n=903)

勤務場所は診療所が697人(77.2%)と最も多く、次いで病院74人(8.2%)、行政55人(6.1%)の順に多かった。

勤務形態は、非常勤が420人(46.5%)と最も多く、次いで常勤366人(40.5%)、常勤(任期付き)44人(4.9%)の順に多かった。

○ 勤務場所

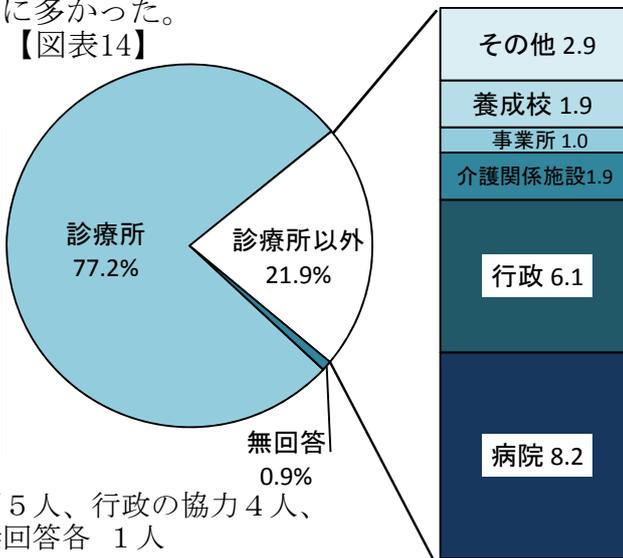
【図表13】

	回答数	%
診療所	697	77.2
病院	74	8.2
行政	55	6.1
介護関係施設	17	1.9
事業所(企業)	9	1.0
歯科衛生士学校又は養成所	17	1.9
その他	26	2.9
無回答	8	0.9
合計	903	100.0

その他の内訳

歯科医師会(センター含む)11人、訪問5人、行政の協力4人、地域活動3人、財団、フリーランス、無回答各1人

【図表14】

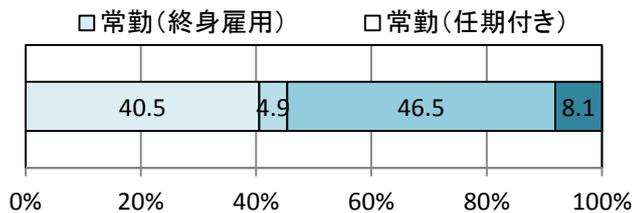


○ 勤務形態

【図表15】

	回答数	%
常勤(終身雇用)	366	40.5
常勤(任期付き)	44	4.9
非常勤	420	46.5
無回答	73	8.1
合計	903	100.0

【図表16】



○ 離職経験

問6-2 離職経験の有無 (n=903)

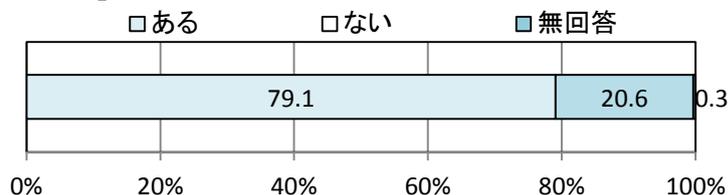
714人(79.1%)に離職の経験があった。

回数は1回240人(33.6%)が最も多く、次いで2回189人(26.5%)、1回135人(18.9%)の順に多かった。

【図表17】

	回答数	%
ある	714	79.1
ない	186	20.6
無回答	3	0.3
合計	903	100.0

【図表18】

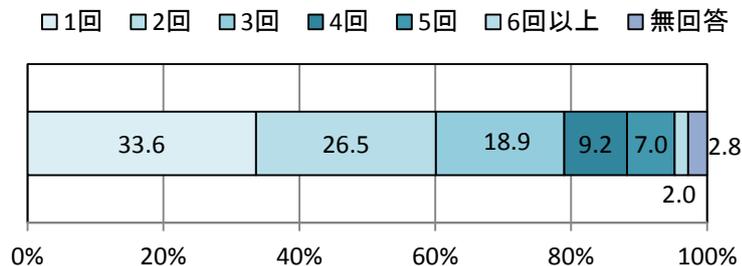


○ 離職の回数

【図表19】

	回答数	%
1回	240	33.6
2回	189	26.5
3回	135	18.9
4回	66	9.2
5回	50	7.0
6回以上	14	2.0
無回答	20	2.8
合計	714	100.0

【図表20】



3 離職者の状況

○離職年数

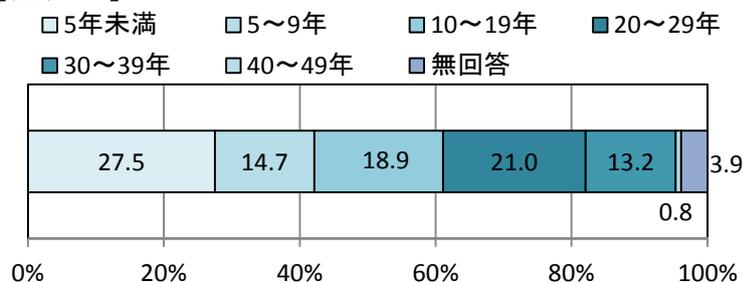
問7-1 仕事を辞めている年数について (n=491)

5年未満135人 (27.5%) が最も多く、次いで20~29年103人 (21.0%)、10~19年93人 (18.9%) の順に多かった。

【図表21】

	回答数	%
5年未満	135	27.5
5~10年未満	72	14.7
10~20年未満	93	18.9
20~30年未満	103	21.0
30~40年未満	65	13.2
40~50年未満	4	0.8
50年以上	19	3.9
合計	491	100.0

【図表22】



○復職への希望

問7-3 また歯科衛生士として働きたいと思いますか (n=491)

思わない者が259人 (52.7%) だった。

<年代別>

20代、30代の者は80%以上が復職したいと回答したが、40代以降は復職したい者が半数以下に減少した

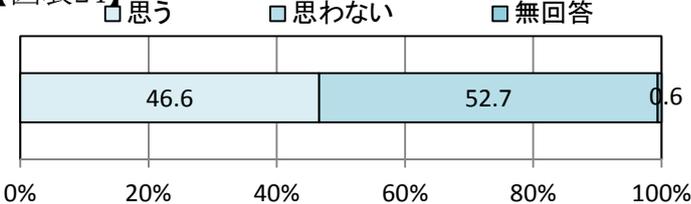
<勤務年数別>

復職したい者は「5~10年未満」の90人 (52.0%) が最も多く、次いで「10~20年未満」78人 (51.7%)、「5年未満」51人 (41.8%) の順に多かった

【図表23】

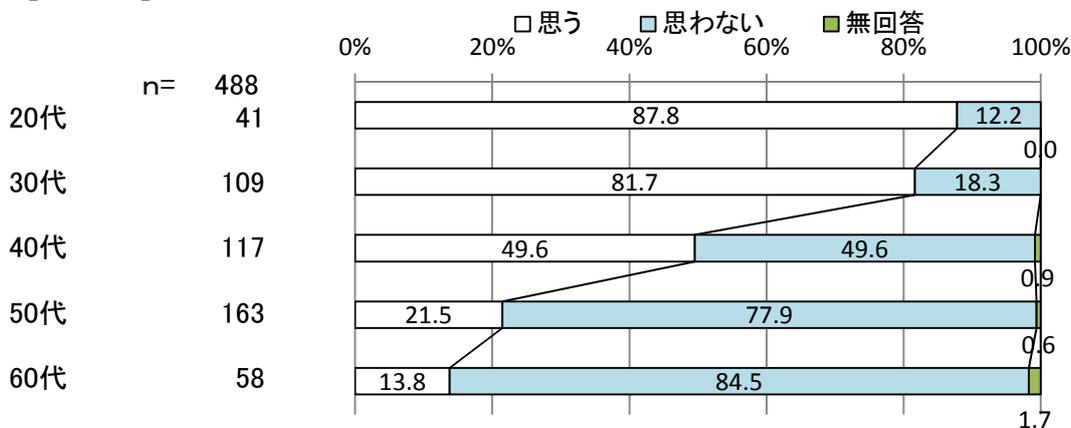
	回答数	%
思う	229	46.6
思わない	259	52.7
無回答	3	0.6
合計	491	100.0

【図表24】



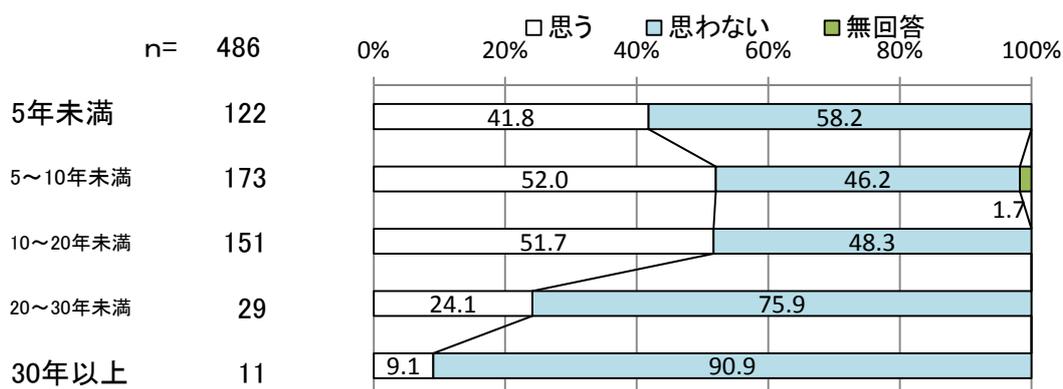
【年代別】 491人中、年齢の回答があった488人の結果

【図表25】



【勤務年数別】 491人中、勤務年数の回答があった486人の結果

【図表26】

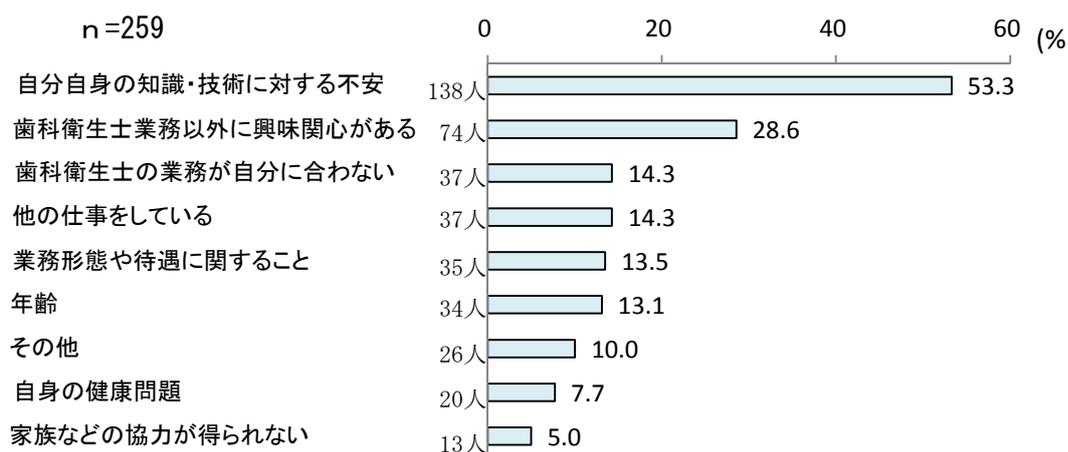


※問7-3で「思わない」と回答した者

問9 歯科衛生士として働きたくない理由【複数回答】 (n=259)

自分自身の知識・技術に対する不安が138人 (53.3%) と最も多かった。

【図表27】



【その他の主な内容】

親の介護、現在の生活に満足している、実力が無い、人間関係でのトラウマ 等

4 就業別にみた離職理由

問6-3・問7-2

仕事を辞めた理由について【複数回答】

〈現職者〉

結婚308人（43.0%）が最も多かった。

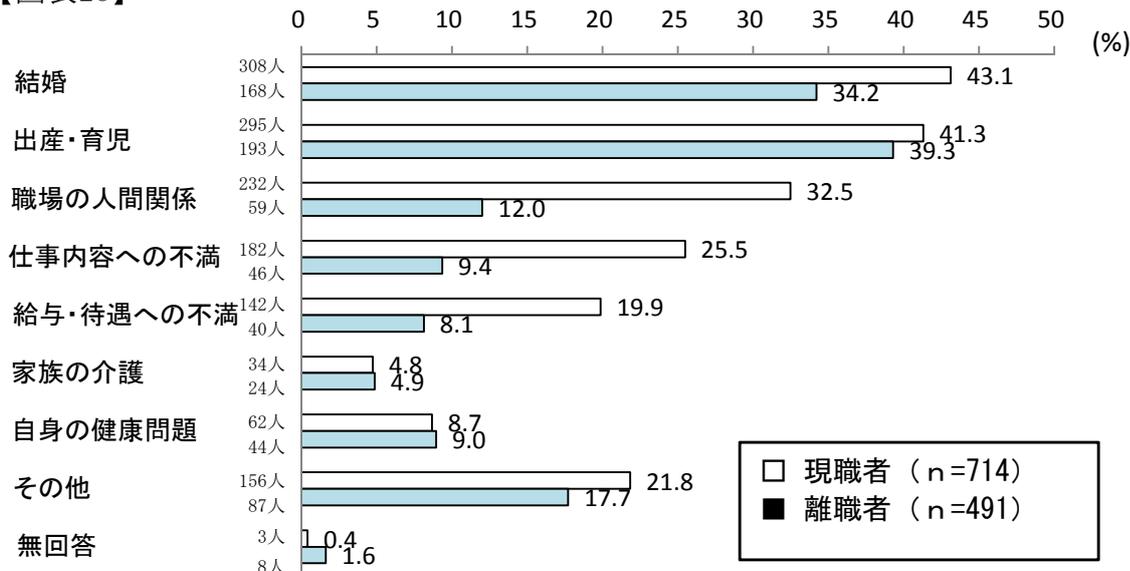
年代別では、30代以降と比較すると20代の「結婚」による離職者が少なく、逆に、「仕事内容への不満」、「給与待遇への不満」が多かった。

〈離職者〉

出産・育児193人（39.3%）が最も多かった。

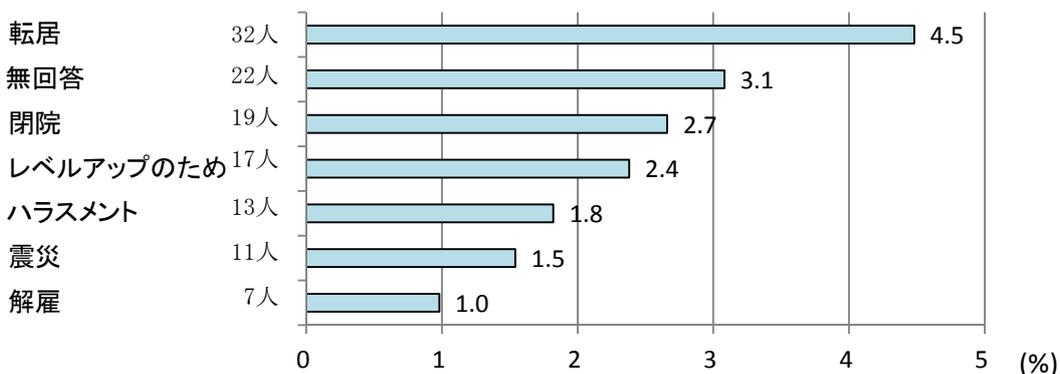
年代別では、20代、30代の「出産・育児」の割合が高かった。

【図表28】

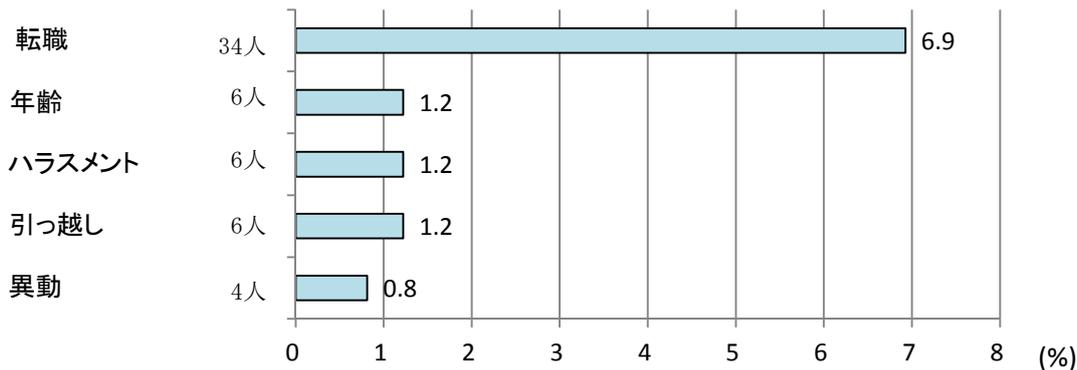


〈参考〉その他の主な内容

現職者 【図表29】



離職者 【図表30】



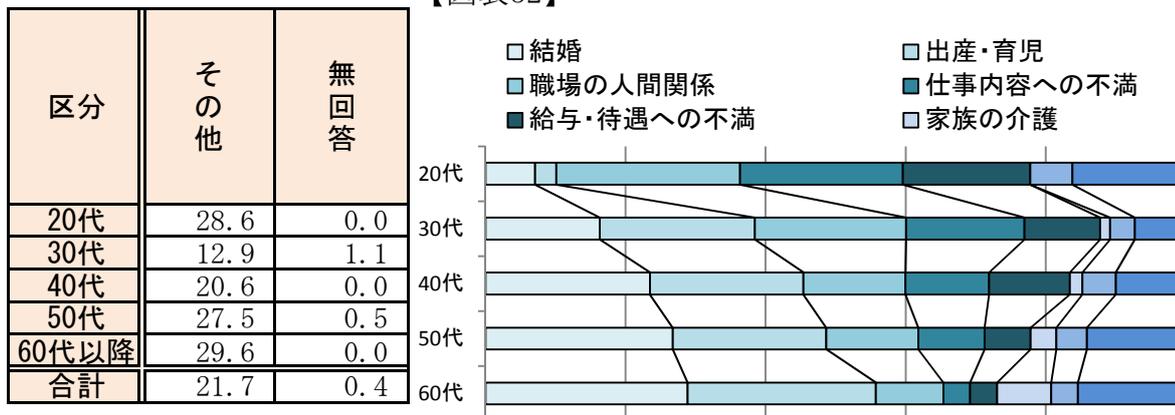
【年代別】*現職者714人中年齢の回答があった711人の結果

【図表31】

単位：%

区分	有効回答数	結婚	出産・育児	職場の人間関係	仕事内容への不満	給与・待遇への不満	家族の介護	自身の健康問題
20代	56	12.5	5.4	46.4	41.1	32.1	0.0	10.7
30代	178	31.5	42.7	41.6	32.6	20.8	2.8	6.7
40代	243	48.6	45.3	30.0	24.7	23.9	3.7	9.9
50代	207	53.1	43.5	26.1	18.8	13.0	7.2	8.7
60代以降	27	55.6	51.9	18.5	7.4	7.4	14.8	7.4
合計	711	43.0	41.2	32.6	25.6	20.0	4.6	8.7

【図表32】



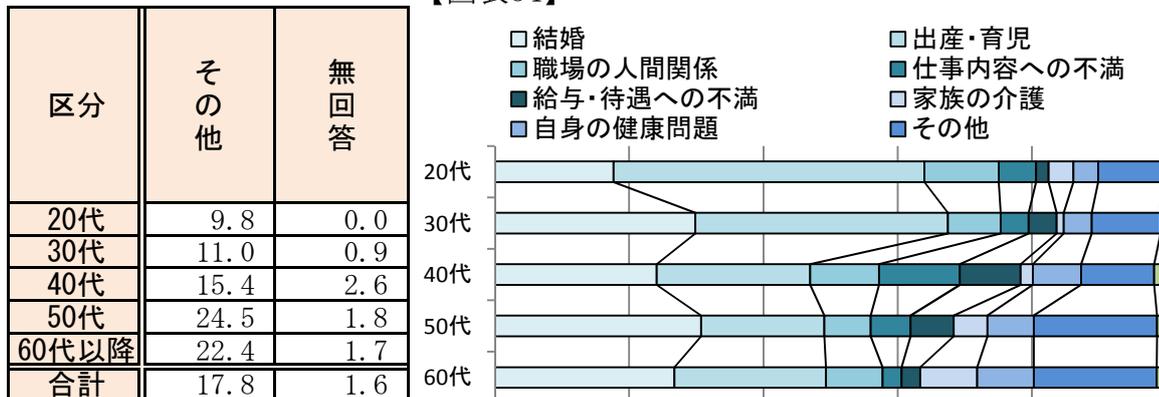
【年代別】*離職者491人中、年齢の回答があった488人の結果

【図表33】

単位：%

区分	有効回答数	結婚	出産・育児	職場の人間関係	仕事内容への不満	給与・待遇への不満	家族の介護	自身の健康問題
20代	41	17.1	44.6	10.7	5.4	1.8	3.6	3.6
30代	109	32.1	40.4	8.4	4.5	4.5	1.1	4.5
40代	117	34.2	32.5	14.5	17.1	12.8	2.6	10.3
50代	163	41.1	24.5	9.2	8.0	8.6	6.7	9.2
60代以降	58	32.8	27.6	10.3	3.4	3.4	10.3	10.3
合計	488	34.4	39.1	12.1	9.4	8.2	4.9	8.8

【図表34】



5 就業別にみた復職に対する意識

- ◇現職者◇問6-4 復職するにあたり障害となったこと【複数回答】(n=714)
 ◇離職者◇問8-1 復職するために障害となっていること【複数回答】
 (n=229)

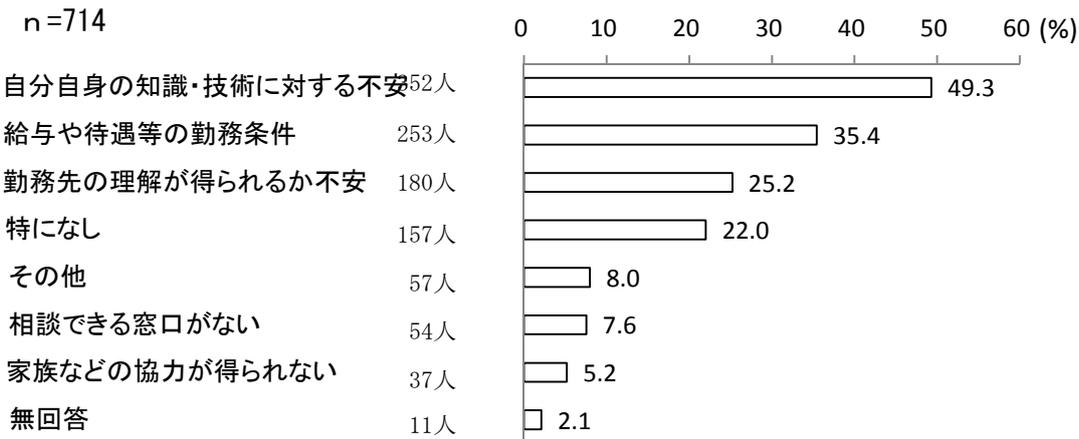
〈現職者〉

「自分自身の知識、技術に対する不安」が最も多く352人(49.3%)だった。
 年代別でみると、年代にかかわらず「自分自身の知識、技術に対する不安」

〈離職者〉

「自分自身の知識、技術に対する不安」が最も多く140人(61.1%)だった。
 年代別でみると、20代、30代の「給与や待遇等の勤務条件」の割合が多い

【図表35】*現職者



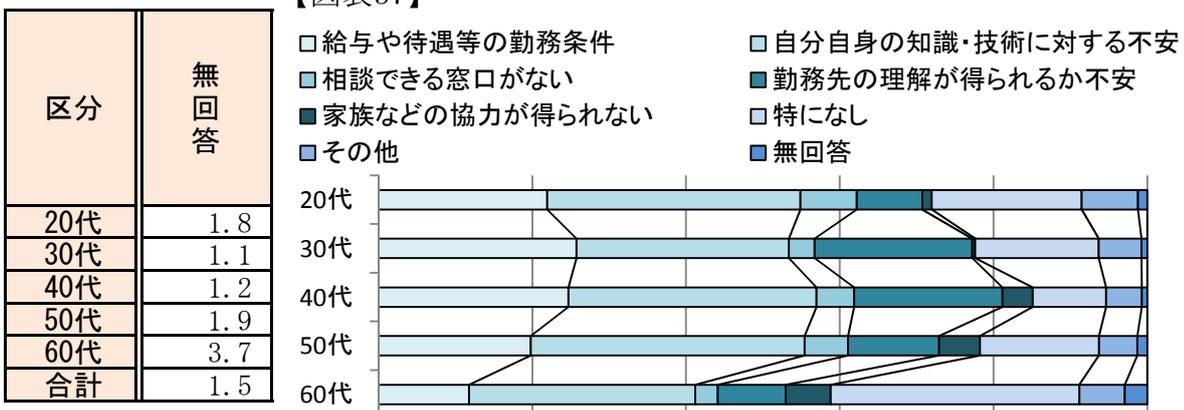
【年代別】*現職者 (714人中年齢の回答があった711人の結果)

【図表36】

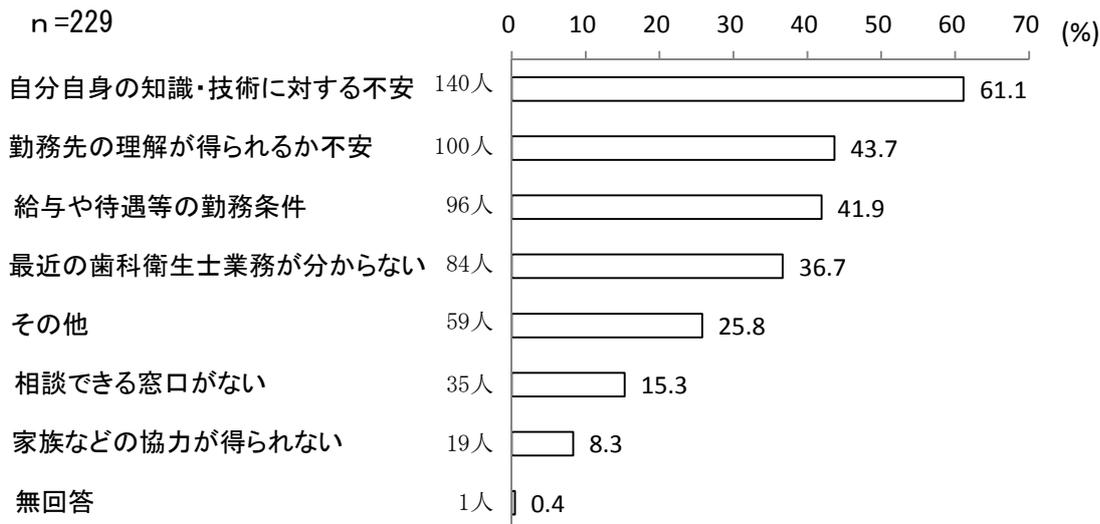
単位: %

区分	有効回答数	給与や待遇等の勤務条件	自分自身の知識・技術に対する不安	相談できる窓口がない	勤務先の理解が得られるか不安	家族などの協力が得られない	特になし	その他
20代	56	32.1	48.2	10.7	12.5	1.8	28.6	10.7
30代	178	38.8	41.6	5.1	30.9	0.6	24.2	8.4
40代	243	41.6	54.3	8.2	32.5	6.6	16.0	7.8
50代	207	29.0	52.2	8.2	17.4	7.7	22.7	7.2
60代	27	14.8	37.0	3.7	11.1	7.4	40.7	7.4
合計	711	35.4	49.4	7.5	25.3	5.1	21.9	8.0

【図表37】



【図表38*離職者

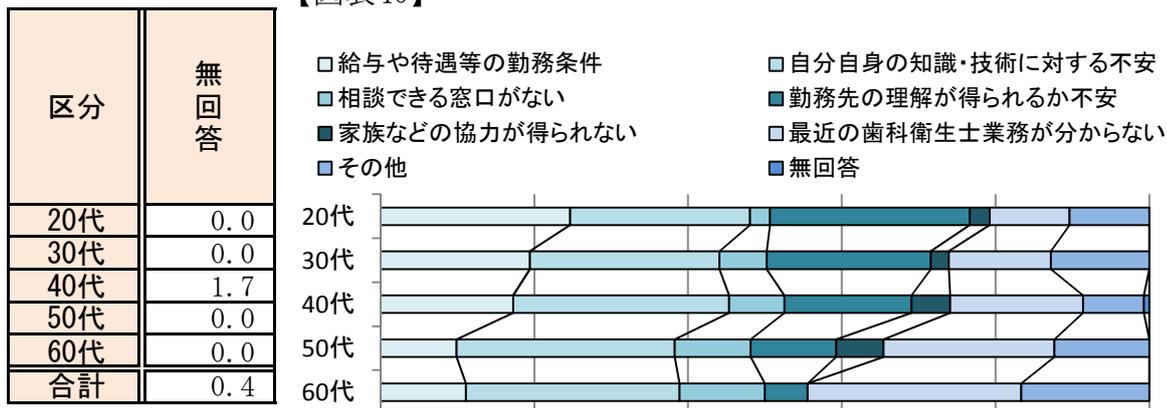


【年代別】

【図表39】*離職者229人中、年齢の回答があった226名の結果 単位:%

区分	有効回答数	給与や待遇等の不安	自分自身の知識・技術に対する不安	相談できる窓口がない	勤務先の理解が得られるか不安	家族などの協力が得られない	最近の歯科衛生士業務が分からない	その他
20代	36	52.8	50.0	5.6	55.6	5.6	22.2	22.2
30代	89	46.1	58.4	14.6	50.6	5.6	31.5	30.3
40代	58	41.4	67.2	17.2	39.7	12.1	41.4	19.0
50代	35	22.9	65.7	22.9	25.7	14.3	51.4	28.6
60代	8	25.0	62.5	25.0	12.5	0.0	62.5	37.5
合計	226	41.6	60.6	15.5	43.4	8.4	36.7	26.1

【図表40】



◇現職者◇問6-5 復職先を見つけた方法【複数回答】 (n=714)
 ◇離職者◇問8-2 復職先を探す方法【複数回答】 (n=229)

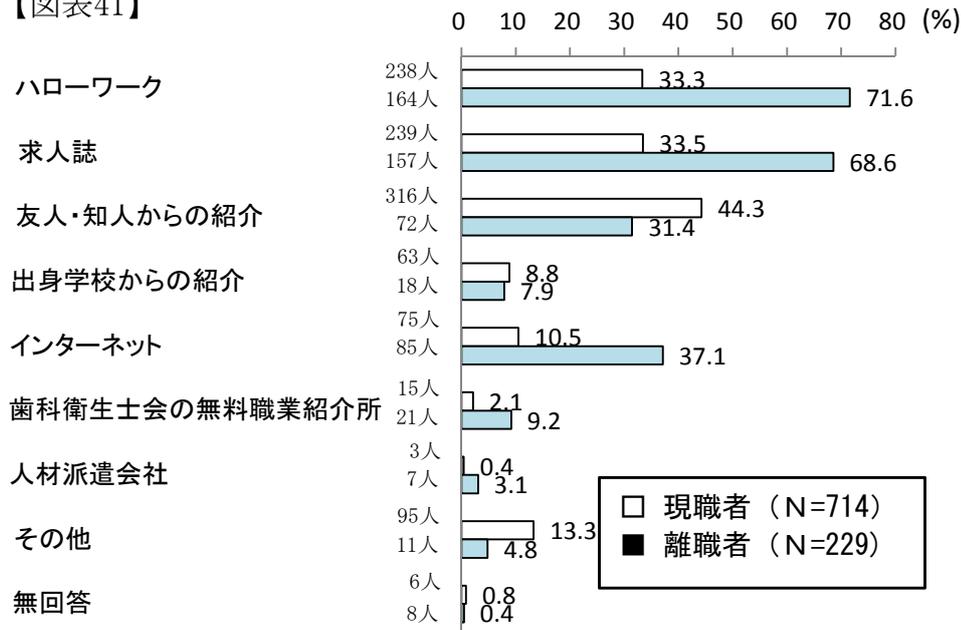
<現職者>

「友人・知人からの紹介」が316人 (44.3%) と最も多い。
 年代があがるにつれて「友人・知人からの紹介」の割合が多くなる。

<離職者>

「ハローワーク」164人 (71.6%)、「求人誌」157人 (68.6%)が多い。
 年代があがるにつれて「出身学校からの紹介」や「無料職業紹介所」の割合が多くなる。

【図表41】



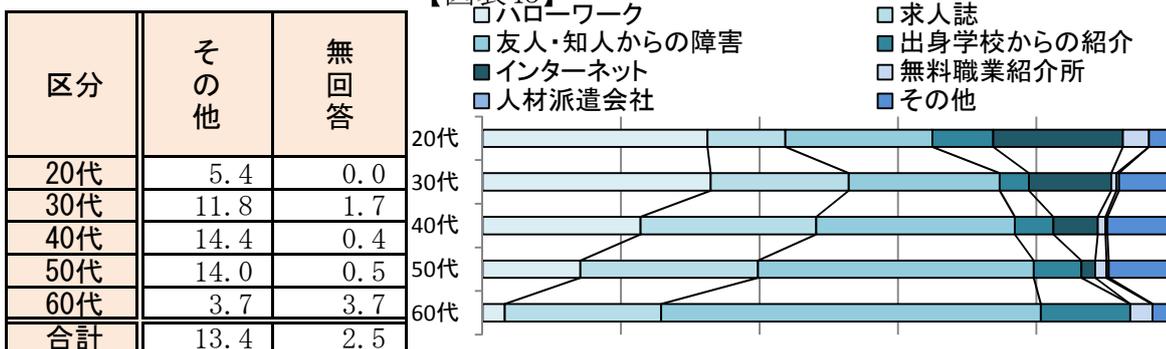
【年代別】*現職者714人中年齢の回答があった711人の結果

【図表42】

単位: %

区分	有効回答数	ハローワーク	求人誌	友人・知人からの紹介	出身学校からの紹介	インターネット	歯科衛生士会の無料職業紹介所	人材派遣会社
20代	56	46.4	16.1	30.4	12.5	26.8	5.4	0.0
30代	178	48.3	29.2	32.0	6.2	17.4	1.1	0.6
40代	243	33.7	37.4	42.4	8.2	9.5	1.6	0.4
50代	207	20.8	37.7	58.5	10.1	2.9	2.4	0.5
60代	27	3.7	25.9	63.0	14.8	0.0	3.7	0.0
合計	711	33.5	33.3	44.3	8.9	10.5	2.1	0.4

【図表43】



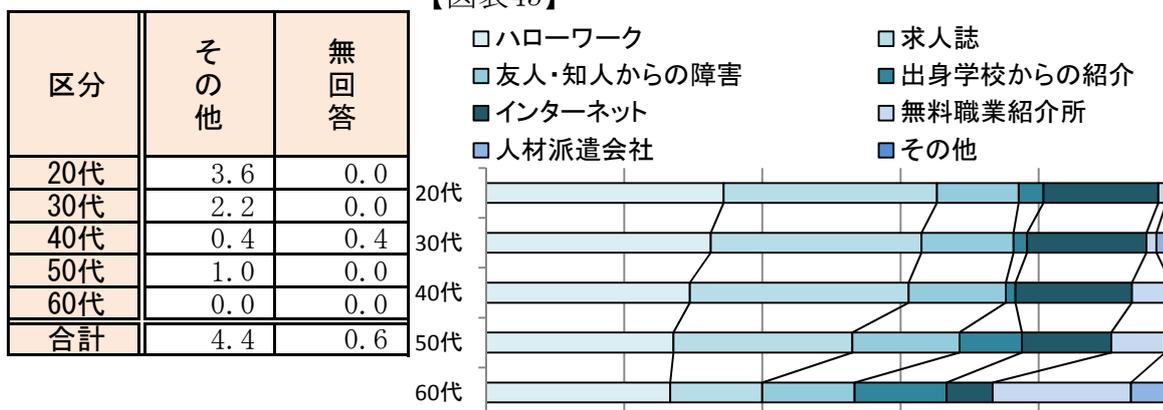
【年代別】*離職者229人中、年齢の回答があった226名の結果

【図表44】

単位：%

区分	有効回答数	ハローワーク	求人誌	友人・知人からの障害	出身学校からの紹介	インターネット	歯科衛生士会の無料職業紹介所	人材派遣会社
20代	36	80.6	72.2	27.8	8.3	38.9	2.8	0.0
30代	89	74.2	69.7	30.3	4.5	39.3	3.4	4.5
40代	58	72.4	77.6	34.5	3.4	41.4	13.8	1.7
50代	35	60.0	57.1	34.3	20.0	28.6	17.1	2.9
60代	8	50.0	25.0	25.0	25.0	12.5	37.5	12.5
合計	226	71.7	68.6	31.4	8.0	37.2	9.3	3.1

【図表45】



6 就業別にみた復職のために望む支援と希望する勤務形態

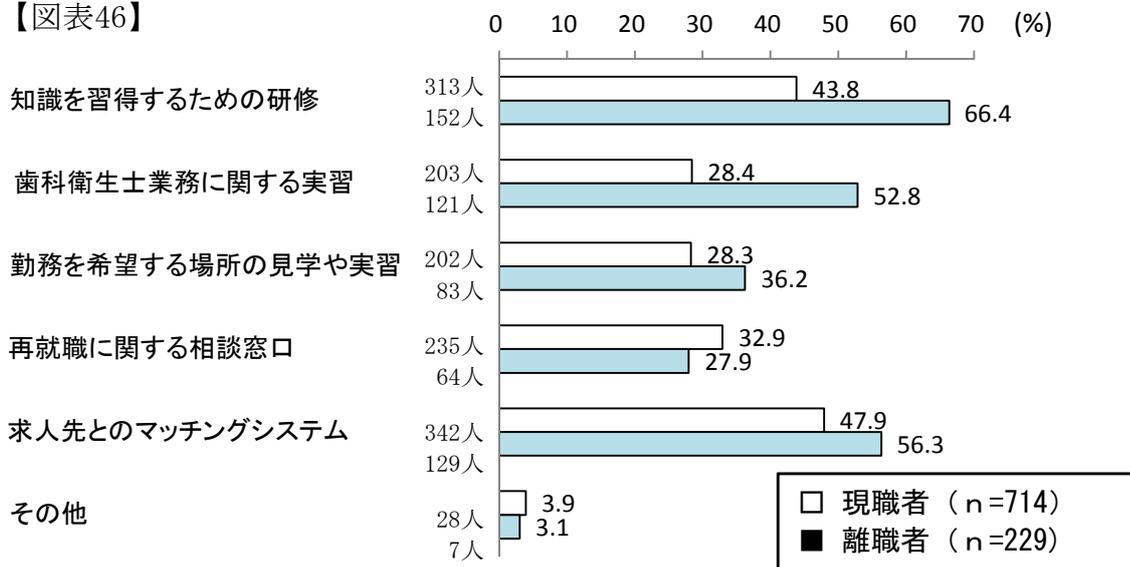
◇現職者◇問6-6 復職する際に「あったらよかった」と思う支援【複数回答】(n=714)

◇離職者◇問8-3 復職するために必要だと思う支援【複数回答】(n=229)

<現職者>「求人先とのマッチングシステム」が342人(47.9%)だった。

<離職者>「知識を習得するための研修」が152人(66.4%)だった。

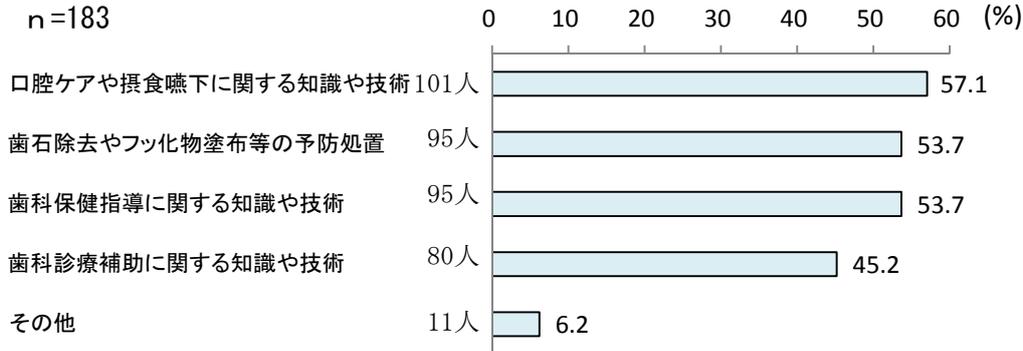
【図表46】



※問 8-3 で「知識を習得するための研修」又は「歯科衛生士業務に関する実習」と回答した者
希望する研修や実習の項目について【複数回答】 (n=183)

「口腔ケアや摂食嚥下に関する知識や技術」が101人 (57.1%)、
「歯石除去やフッ化物塗布等の予防処置」、「歯科保健指導に関する知識や技術」
が95人 (53.1%) と約半数の者が希望していた。

【図表47】

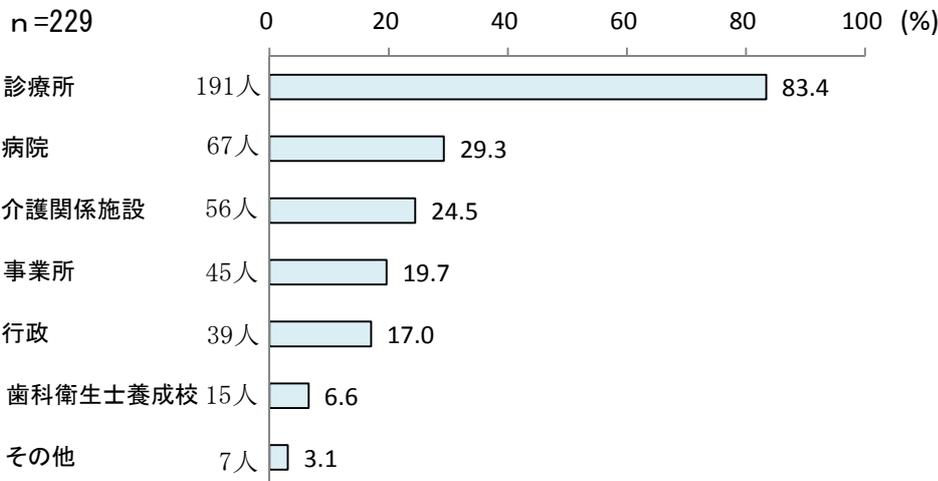


問 8-4 復職にあたり希望する勤務場所や勤務形態について【複数回答】

「診療所」が191人 (83.4%) と最も多く、「病院」67人 (29.3%)、
「介護関係施設」56人 (24.5%) の順に多かった。
年齢別には、40代、50代で「介護関係施設」での復職を望む者が多かった。
望む勤務形態は「非常勤」が165人 (72.1%) と最も多かった。

【勤務場所】

【図表48】

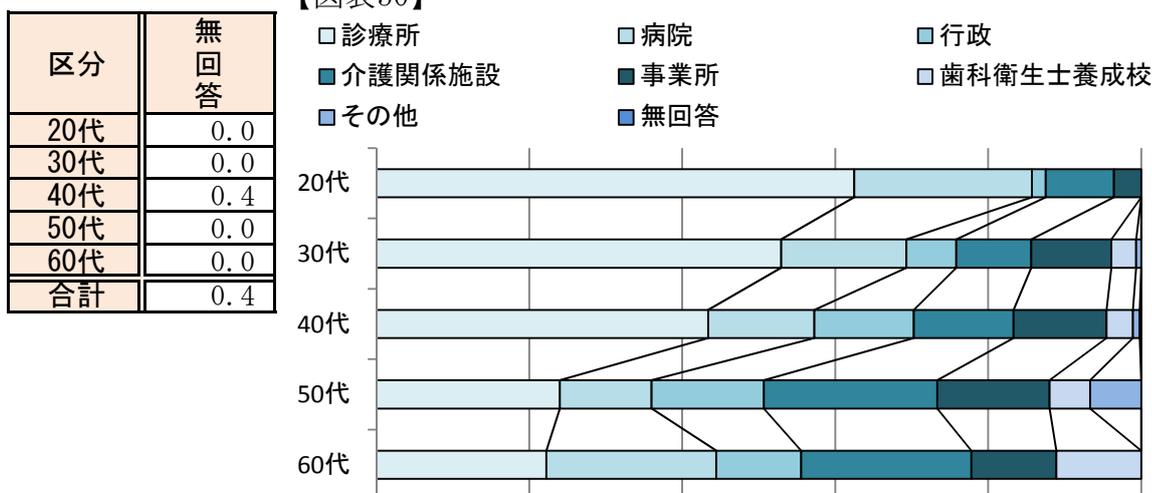


【年代別】*離職者229人中、年齢の回答があった226名の結果

【図表49】

区分	有効回答数	診療所	病院	行政	介護関係施設	事業所	歯科衛生士養成校	その他
20代	36	97.2	36.1	2.8	13.9	5.6	0.0	0.0
30代	89	91.0	28.1	11.2	16.9	18.0	5.6	1.1
40代	59	84.7	27.1	25.4	25.4	23.7	6.8	1.7
50代	34	52.9	26.5	32.4	50.0	32.4	11.8	14.7
60代	8	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0
合計	226	83.2	29.6	17.3	24.8	19.9	6.6	3.1

【図表50】



【勤務形態】

【図表51】

